指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

施設所管課	都市計画部　公園緑地課

施　設　名	柳が崎湖畔公園（びわ湖大津館を含む。）
指定管理者	京阪・琵琶湖汽船グループ
指定期間	令和4年4月1日　～　令和9年3月31日
指定管理料	年額45，076，020円　（令和7年度）　（総額223，383，640円）
設置目的	①びわ湖の自然を活かした環境学習施設として利活用。 ②琵琶湖畔に位置する観光スポットとしての利活用。 ③学生や地域住民、ボランティア団体等の協働の場として利活用。 ④ロケーションを活かしたイベントの場として利活用。
業務内容	管理事業　柳が崎湖畔公園(びわ湖大津館を含む。)の公園管理全般 自主事業　飲食事業、ブライダル事業、売店事業

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	日々の点検や計画的な維持管理を適切に行い、各事業についても事業計画通り実施していた。 自主事業においては、映画「国宝」のロケ地効果を活用し県内各所へのチラシ配架や旅行会社への情報発信にも取り組むことで前年比134%の増収となったことは評価できる。 次年度以降についても、日々の点検業務や積極的な広報活動により、ロケ地効果をさらに発展させるとともに課題である周辺渋滞対策にも取り組み、魅力ある事業を展開していただきたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B	過去10年の実績と経験を前提に、事業計画に沿って運営管理に努めた。	B（良好）	施設の設置目的を理解し、目的に沿った管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B	社員従業員において育児時短取得があり一時的な要員不足となったが、補充を行うなどシフト計画を実施した。障がい者雇用については継続して雇用。	B（良好）	社員従業員の育児時短取得により人員不足となったが、人員補充を行う等概ね計画通りの配置であった。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B	研修は原則全社員対象であり、琵琶湖汽船本社で社労士の講義のもと年二回受講した。	B（良好）	事業計画に基づき研修が行われていた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B	社内法令及び都市公園条例などに基づき、関係法令を適切に遵守した。	B（良好）	関係法令を適切に遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B	社内業務監査指針及び協定書に基づき、個人情報をはじめとした機密文書は施錠できるロッカーにて適切に管理している。また、情報漏洩が発生しないように廃棄の際はシュレッダーを使用し適切に処理をした。	B（良好）	協定書に基づき機密文書は施錠のできるロッカーで適切に管理していた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B	社内業務監査による指針に基づき、日誌、入金伝票、各点検・修繕簿などは厳格に取扱。親会社の監査役監査においても指摘事項は無く良好である。	B（良好）	指定管理者内の指針に基づき、日誌や入金伝票、各点検・修繕簿等は適切に管理されていた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B	市の担当者と都度連絡を取り、調整・報告において適正に実施した。事業報告書についても、期限内に提出した。	B（良好）	市と指定管理者の連絡体制は問題なく行われ、事業報告書等の提出も適切であった。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B	社内危機管理連絡網を継続して設置している。※消防法令に関する自衛消防訓練は計画通り9月と2月に実施した。	B（良好）	社内危機管理連絡網を管理事業所内に掲示し、緊急時の連絡体制が確保されていた。また法令に関する消防訓練も計画通り行われていた。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** ☐ 開館日、開館時間を遵守していたか。 ☐ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B	定められた開館・運営時間を遵守した。利用者への安心安全の配慮のもと施設巡視に努めた。	B（良好）	定められた開館・運営時間を遵守していた。施設巡回を行い危険個所等の早期発見早期対応に努めていた。
	利用状況 ☐ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B	柳ヶ崎湖畔公園において、国スポ・障スポのリハーサル大会、および本大会開催に伴う公園施設の臨時休館があり実績比較はしがたいが、ロケ地集客の効果もあり、おおむね平年の水準と考えられる。	B（良好）	国スポ・障スポによる臨時休館期間があったが「国宝」のロケ地効果による来場者の増加や有料施設の利用などの効果もあり概ね適正な水準であるといえる。
	利用者対応 ☐ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 ☐ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 ☐ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B	社内の接客マニュアルに則り、適切な接遇を実施した。また、施設・備品については適宜提供した。	B（良好）	社内の接客マニュアルに則り、適切な接遇を実施していた。また、設備・備品等についても適切に提供されていた。
	業務運営（全体） ☐ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B	事業計画に基づき執行できた。利用促進に向けて施設案内チラシを駅などに設置するとともに旅行会社への情報発信にも注力した。	B（良好）	県内各所への施設案内チラシの設置や旅行会社への情報発信に注力していた。この結果ロケ地巡りツアーの来客など一定の効果があったことは評価できる。
	自主事業運営 ☐ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 ☐ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 ☐ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 ☐ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B	当初計画書どおりに事業を実施した。地元連携である自主事業「イルミネーションプロジェクト」についても計画通り開催。	B（良好）	概ね計画通り実施していた。イルミネーションプロジェクトについては例年通り成安造形大学と連携し公園の賑わいづくりに取り組んでいた。
	維持管理 ☐ 施設、設備の保守管理（点検・修繕）を計画的に実施したか。 ☐ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 ☐ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 ☐ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 ☐ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B	事業計画に基づき、随時施設・備品について点検を行い、必要と考えられる事柄は修繕等を実施した。樹木については、寿命などもあり予算内にて適宜植え替えなどの処置を行った。	B（良好）	事業計画に基づいて随時施設・備品についての点検が適切に行われていた。修繕が必要な箇所や植え替えの必要な樹木についても適切に対応していた。
	情報提供 ☐ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 ☐ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B	年次の計画どおり、季節の案内チラシの作成・配布を実施。また、ホームページ、SNSについても適宜更新し年間を通して最新情報の発信に努められた。	B（良好）	季節ごとのイベントチラシを作成し駅等に設置するとともにホームページやSNSなどでも積極的に情報発信を行っていた。
	環境配慮 ☐ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	コピー用紙の裏紙の利用促進、段ボール・紙ごみのリサイクルを前提とした分別処理を実施した。	B（良好）	コピー用紙の裏面利用や段ボール・紙ごみのリサイクルを前提とした分別処理が実施されていた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 ☐ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B	障がい者への合理的配慮に一環として受付カウンターに筆談対応可のプレート設置を開始。対応実績は0件であった。	B（良好）	受付カウンターに筆談対応可能なプレートを設置するなど障害者への合理的配慮が行われていた。
	意見・要望・苦情 ☐ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 ☐ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B	ホームページによるご意見フォームをはじめ、口頭苦情についても適宜早急な対応に取り組んだ。今年度の大きな苦情は、花火大会の降雨に起因するものであった。	B（良好）	ホームページやご意見フォーム等から問い合わせができる体制を整え、苦情に対して適宜早急に対応されていた。
	利用者アンケート ☐ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B	手軽に利用者アンケートに協力いただけるように電子QRアンケート方式を継続して実施したが、具体的な改善要望などの回答の改修に至っていない。	B（良好）	利用者アンケートに手軽に協力いただけるよう電子QRアンケート方式が整えられ利用者ニーズの把握に努めていた。アンケート回答件数が少ないことからイベント等での協力依頼等回答件数増加につながる取組を期待したい。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** ☐ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 ☐ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 ☐ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B	社内経理監査指導の下、帳簿記帳・つり銭管理・売上入金など年間を通して適切に執行した。	B（良好）	社内経理管理指導の下、帳簿記帳、つり銭管理・収入の入金など経理執行を適切に行っていた。
	収支状況 ☐ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 ☐ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B	管理事業収支については▲1,643千円(前年比1,029千円の改善)、自主事業収支については+3,223千円（前年比163千円の増益)の着地。	B（良好）	管理事業収支については前年比1,029千円の改善。自主事業収支についても前年比163千円の増益と概ね適正な水準であるといえる。
	経費節減の取組 ☐ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 ☐ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B	日々軽減を図ったが、エネルギー高騰の影響は大きく、前年比571千円悪化した。また、その他諸経費も3,657千円の費用増となった。	B（良好）	エネルギー高騰や物価高騰の影響による経費の増加となった。使用していない部屋の消灯管理や空調管理など水光費削減に取組んでいたことは評価できる。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B		B（良好）	
自Ⅳその他（独の取組等）	**その他** ☐ 努力事項として掲げた高齢者・障がい者に対する利用援助の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B	利用者要望があり、課題であった和式水洗の洋式化改修に努められた。	B（良好）	庭園内女子トイレを洋式化し多様な利用者の利便性向上に関する取組を推進していた。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和７年度）

主な成果（全体）

使用料（利用料）	目標	32,597,000　円	⇒	実績	33,370,250 円	貸会議室、庭園、駐車場の年度予算額
稼働率	目標	10 %	⇒	実績	9.6 %	※貸会議室(15室)
利用者数	目標	134,001 人	⇒	実績	141,542 人	貸会議室、庭園入園者、駐車場(台)

【指定管理者コメント】

利用料金の目標については、国スポ・障スポセーリング競技大会の開催による臨時休館などによる影響で利用者減となった。一方、6月以降ロケ地のにぎわいに連動して秋のバラとあいまって駐車場収入等の利用増により増収となった。会議室利用については臨時休館の影響による利用停止により、若干目標を下回ったが利用料収入は増収に至った。

【施設所管課コメント】

国スポ・障スポセーリング競技大会に伴う臨時休館の影響下で利用者減があったが、6月以降のロケ地の賑わいと秋のバラの相乗効果で駐車場収入が増収となった点は評価できる。
次年度以降も、ロケ地効果を一時的なものに留めず、継続的な利用者増、収益向上に取組まれたい。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
飲食事業	自主事業	喫茶、ランチ、ディナーの提供。	実施	年間来客人員　35,403名(前年比　8,874名増)
物販事業	自主事業	バラ雑貨をはじめ、滋賀県ゆかりの雑貨を取り揃え。	実施	年間レジ取引回数　12,318回(前年比4,649回増)
春・秋のローズフェスタ	自主事業	バラのシーズンに合わせた様々な企画を展開。	実施	ガーデナー厳選の花苗販売を土日に実施。
花火大会有料観覧席販売	自主事業	大津館南側の広場を利用した観覧席販売	実施	観覧席事業による誘客数は2,487名　事業の粗利益は14,282千円(税込)となり過去最高。
イルミネーション事業	自主事業	冬季イルミネーション事業 12月6日～2月1日(1、2月は土休日のみ)	実施	

【指定管理者コメント】

全体的に人出の回復傾向を感じられた。ツァーバスなどの動きも活発化し、なにより映画「国宝」のロケ地効果として6月から12月で対前年およそ3万人の来館者の増となり事業全体の増収に大きく貢献した。

【施設所管課コメント】

映画「国宝」のロケ地効果もあり、来館者数は前年度を大幅に上回る結果となった。積極的なイベントや広報活動の効果もあり増収に繋がったことは評価できる。
また、例年行っている成安造成大学と連携したイルミネーション事業についても一定の集客があり地域の賑わいや学生の活躍の場となっていた。
次年度はロケ地効果を一時的なものせず継続的に発展させていくよう取組まれたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

利用者が年々増加し観光地になりつつあるのが実感できる。例年通りバラのシーズンやイルミネーション開催時はしばしば満車となり、入庫待ちの利用者渋滞により周辺道路においても渋滞を引き起こしている。今後も一時ではあるが同様の事案が考えられるので何らかの解決方法を見出したい。

【施設所管課コメント】

様々なイベントやロケ地効果により,多くの方に公園を利用してもらえるようになった一方で繁忙期に周辺道路において渋滞を引き起こしている。
次年度以降については、公共交通機関の利用促進やイベント開催時期の分散化など周辺の渋滞対策に取組まれたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

指定管理者自己評価 →（提出）→ 所管課評価 →（通知）→ 指定管理者 →（送付）→ 行政改革推進課（ホームページ等により結果公表）